

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 「復興元年」を教育振興運動で！～

< 目次 >

- 1 【教振運動】新年度に寄せて
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教振運動】新年度に寄せて

新学期が始まりました。子どもたちの元気な声が、校舎内に響き渡っています。そんな当たり前の光景が、とてもうれしく思えます。1年前、「学校の再開が、日常生活の再開のきっかけづくりになる」と学校再開の準備を進め、その後、多くの方のご苦勞とご支援により、子どもたちの教育環境が少しずつ整い、今日に至っています。

まだまだ、解決しなければならない課題はあるとは思いますが、5者の連携・地域総ぐるみで取り組んでいきましょう。本メルマガで各地域の復興に向けた取組を紹介していきたいと思えます。

また、24年度は「みんなで教振！10か年プロジェクト」の“定着と検証の2年”の最終年となります。10か年プロジェクトの7か年を取り組み総括し、市町村や地域への定着状況を確認していくこととなります。

「何を改善するために10か年プロジェクトを始めたのか？」その原点に立ち返り、市町村や地域の取組が改善されてきているかを評価する1年であることを意識していきましょう。

4月6日（金）に開催された第1回岩手県社会教育主事等会議では、学校教育室の指導主事を交えて5つのテーマについて熟議がおこなわれました。そのテーマのひとつである「教育振興運動の“定着と検証の2年”をどう総括するか」では、次の意見が出されました。

- (1) 「地域課題」と「推進上の課題」を整理する必要がある。

市町村や地域が何に取り組むのかという「地域課題」と、どうやって取り

組むかと取組方法を考えた時の「推進上の課題」は違うものである。その2つの“課題”が混同している。10か年プロジェクトで改善に取り組んでいるのは「推進上の課題」である。

(2) 教育振興運動は、本当は身近なもの。

教育振興運動は、“地域の教育課題を5者の連携により解決する”という取り組みであり、実体がつかみにくい。「本当はやっている」のにその自覚がないことも多く、「それが教育振興運動なのだ」と教えてあげ、活動に価値づけをする必要がある。

平成25年1月18日(金)に「定着と検証の2年」集約県大会を花巻市の市民文化会館にて開催します。復興に向けての取り組みと10か年プロジェクトの総括をおこなうこの大会に向けて、実りある1年にしていきましょう。

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) みなさん、こんにちは！

(教ちゃん) 新年度を迎えて、初めてお会いする皆さんもいらっしやることと思います。私は、教育振興運動のキャラクター“教ちゃん”です。

(振ちゃん) “振ちゃん”です。よろしく、お願いします。

(教ちゃん) このコーナーでは、昭和40年から始まる教育振興運動の“今”を、わかりやすく紹介したいと思っています。

(振ちゃん) なんとって、あと2年で50周年を迎える運動です。先輩たちの築いてきた岩手県が誇るこの教育運動を盛り上げること。それが、僕たちの役目だと思っています。

(教ちゃん) 『内外通信(平成24年2月21日号)』では、菅野教育長が岩手県の教育の特徴を問われて、「教育は学校関係者だけでやっているのではないことを大前提としている。地域それぞれで行っている教育振興運動を現在に生かすものとして“いわて型コミュニティ・スクール構想”をつくった。学校と地域が一緒にやろうというものだ。」とおっしゃっているわ。

(振ちゃん) 教育振興運動といわて型コミュニティ・スクールは、車の両輪というわけだね。

(教ちゃん) 子どもたちのため、地域のためなのなもの。社会教育・学校教育、地域みんなが一緒に取り組むことが大切よね。

(振ちゃん) ハンド・イン・ハンド、君はひとりじゃない。サイド・バイ・サ〜イド、一緒に行こうよ〜♪

(教ちゃん) そうね。

(振ちゃん) ハンド・イン・ハ〜ンド、君はひとりじゃない。サイド・バイ・サ〜イド、一緒に行こうよ〜♪

(教ちゃん) し・つ・こ・い(怒) ということで、よろしくお願いします！

★教育振興運動イメージソング

「Hand In Hand」は、こちらで聞くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

3 【編集後記】あつしのひとりごと

我が家の「ノーテレビ・デー」の記録が10日に伸びました。そう、10日前と言えば“アナログ放送の終了日”。今、我が家のテレビは、スイッチを入れても砂嵐が映るだけ。すっかり、DVD・ビデオ再生画面装置となっています。

ラジオに新聞、インターネットがありますので、必要な情報は入手できますし、さほど不便さを感じずに過ごしています。どうしても見たいテレビがあれば、携帯電話のワンセグで見ることができますし・・・。

私自身は、ウルトラマンや仮面ライダー、8時だよ全員集合等で育ったテレビっ子世代ですが、地デジ・チューナーを購入するその日までは「ノーテレビ・デー」が続きます。さて、我が家の読書時間が増えるか？・・・が課題です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第67号は、4月24日(火)配信です。

★バックナンバー(第1~65号)はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題(家庭学習と読書推進)の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

~~~~~